



「研究とエビデンスに基づいた施術」教育課程に関して

補完療法における治療効果のエビデンスを求める動きは 1999 年英国会下院からの報告があったから強まってきました。

代替補完療法 (CAM) に関するエビデンスに基づいた推奨報告書が次々と公開されています。標準教育の中に信頼できるエビデンスを提供することの重要性を盛り込むことが必要になってきました。研究の為にファンディング、大学での研究費予算の拡大などが求められています。CAM を行う会社もこの EBM (エビデンスベースドメディスン) への投資が求められています。IFPA では、アロマセラピーを学ぶ生徒に、自身の施術に対する客観的な考察力を身に付けてもらうため、研究の有用性の理解、また、施術結果や施術計画を理論的に、科学的に考察する能力をつけさせています。

「研究」教育課程の目指すところ

この教育課程は生徒に、リサーチの様々な方法、エビデンスに基づいた施術、振り返りと考察の方法について知識を提供します。

- 研究の方法、研究を行う際に必要な事項を教える
- いくつかの例をもとに、リサーチ計画について理解する
- 研究における信頼性、有効性、倫理性の必要性を理解させる
- 発表されている研究論文を客観的に、科学的に評価し、自身のクライアントケアに関して必要性の高い情報であるかどうかを判断する能力をつける。

「研究」課程アウトライン

CAM やアロマセラピーの施術に関するエビデンスの重要性
研究と考察の定義

試験内容への反映

- 筆記試験：研究エビデンスをクライアントケアに反映させる能力を確認する質問
- 実技試験：クライアントから得た情報に対し、エビデンスに基づいた判断による施術計画が立てられているかを確認する

学習方法

この過程は以下の方法で教えることが可能です。

- 対面授業
- 通信教育
- 自宅学習